



循環ワークス

環境に寄り添い「ヒト、モノ、コト」を循環させて

より豊かな生活を考える「循環工場」





山本 広気 (写真1列目右 / スタッフと共に)

「循環ワークス」工場長
 1981年、静岡県沼津市生まれ
 「山本電力(やまでん)」主宰
 「NUPURI FILMS」(映像制作)主宰
 NPO法人あしぶね舎代表理事として
 「静岡オーガニックフェスティバル」開催

「循環ワークス」工場長：山本 広気 活動への想い

この数十年で、人間が環境に与えた傷跡はあまりにも大きく、なお傷は**深まる**ばかりです。

そこでわたしは家族という最小単位で、環境に配慮した生活を始めました。

電気は自給し、**廃天ぷら油**で車を走らせ、古民家に住み、薪をくべて暖を取り、無農薬で野菜を作り、暮らしています。

しかし、わたしたち家族だけでは、**地球の環境を変えることは到底できません。**

わたしたちが住んでいる地球への責任は、わたしたちがとらなければなりません。

まずはその問題を多くの人に知っていただき、**だれもが「地球環境のためにできることがある」という認識を広めていく**ことが、わたしの役目だと思ふようになり、この工場での活動を始めました。

わたしたちは、生産して終わりという一方通行の矢印をぐるっと回し「**循環**」させたい想いで、この工場を「循環ワークス」と名付けました。人間が多少不便になっても、可能な限り地球環境に負荷を与えない事を最優先して「循環ワークス」を運営しています。

「循環ワークス」とは「ヒト、モノ、コト」の循環を生み出すコミュニティスペース

「循環ワークス」は環境問題をきっかけに、より豊かな暮らしを提案するコミュニティスペースです。

オープン準備を始めた2020年以来、既存の電力会社と契約せず、リユースパネルを活用し100%電力自給で運営しています。

環境に寄り添い、循環を生み出す、コミュニティスペース

「循環ワークス」は環境問題に寄り添い「ヒト、モノ、コト」の循環を生み出すコミュニティスペースを運営しています。

「ヒト、モノ、コト」の循環一。

それは目に見える物質や技術だけでなく、人との繋がりや思いやりも循環させることを目指しています。草の根運動と呼ばれる小さな行いが大事な環境問題を、この工場で会える仲間と支え合って取り組むことで、それがひとりひとりの活力となり、コミュニティの力を育み、地域の活性にも貢献しています。

工場となる場所は、元々サバ節工場だった場所を再活用し、のべ 500名以上のサポーターとDIYでリノベーションを行いました。

コミュニティスペースでの活動は、ワークショップの開催、環境に関する映画の上映会、「○○の部屋」と題した、資本主義についてや、フリースクールなど、いろいろな考え方に触れる意見交換の場の開催、空き家を活用し DIY技術を伝える移住支援など多岐に渡ります。



2020年 元サバ節工場だった場所



サポーターとDIYでリノベーション



2021年オープン当初、外観



2021年オープン当初、外観



様々な人が集うコミュニティスペースに



現在の店内(1F) 古物が並ぶ



現在の店内(2F)



キッズスペースも(2F)



DIYを行う工場も併設



屋上には太陽光パネル

①「ヒト」の循環:暮らしにまつわるワークショップ

ヒトの経験や技術のシェアの場として、食・DIY・手仕事・パーマカルチャーなど、暮らしや季節にまつわる多様なワークショップを開催しています。

②「モノ」の循環:古物の回収&販売

ゴミとして処分されるものを回収し、必要な人に引き渡す活動を主に行っています。通常のリユースショップより安価に設定し、循環を促しています。

③「コト」の循環:体験に想いものせて

ワークショップやリノベーションの共同作業など、同じ場を共有する体験を大切にしながら、人々の挑戦を応援する機会を作っています。

そして「思いやり」の循環へ

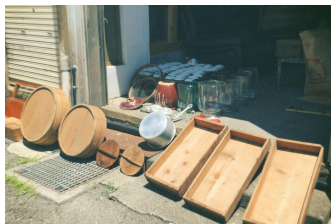
ワークショップや、サポーターとのリノベーション作業、古物販売でもモノにまつわるエピソードを伝えるなど、循環ワークスでは全てに「想い」をのせて活動しています。地域の人々との繋がり、助け合いを大切に「思いやり」も循環させ、貨幣経済に頼らない「ギフト」の送り合いを育んでいます。



①自然栽培野菜作りワークショップ



①太陽光発電ワークショップ



②回収した古物を洗浄・乾燥



③「体験」が発見や興味のタネになる



サポーターの皆さんへふるまいご飯

④電力自給活動 & 廃油「天ぷら油カー」

工場の準備を始めた2020年以来、既存の電力会社と契約せず、リユースパネルを再利用し、店内の電力は100%自家発電でまかっています。太陽光発電のワークショップを行右ことで電力自給の啓蒙活動も。また、バイオディーゼルではなく廃油を自作の濾過機で濾過しそのまま使用する「天ぷら油カー」で古物の回収を行っています。店内の電力が太陽光パネルだけでは足りない場合、この廃油も活用しています。また、冬場の暖房は、廃材となる薪を活用し、電力以外のエネルギー再生も行っています。

⑤環境に配慮した オーガニック食品の販売

オーガニックやフェアトレード製品など、環境に配慮した生産物をの販売を行っています。店内に併設しているカフェでは、自然栽培の調味料や野菜を使って、ランチ・カフェメニューの提供、イベント出展も行っています。

⑥屋上パーマカルチャー・ガーデン

屋上は、パーマカルチャー・ガーデンとして活用しています。茶箱を使ったコンポストで、生ゴミを土に替え、屋上菜園に利用したり、雨水を溜めて水やりをしたり、自然の共生・循環システムを取り入れています。



④廃油「天ぷら油カー」で古物の回収



⑤店内で販売している自然食品



⑤ある日のランチメニュー、パインミー



⑤キッチンカーでイベント出展も



⑥屋上パーマカルチャー・ガーデン

コミュニティスペースの運営

- ・環境問題や、暮らしにまつわる選択肢を伝えるためのコミュニティスペースを運営。地域内外のネットワークを築いてきました。
- ・工場は、**のべ500人**のサポーターの手を借り、DIYでサバ節工場をリノベーションしました。
- ・公式instagram: **フォロワー数 5,770** ・公式YouTube「コミュニティメンバー」2023年10月1日本格スタート

一環境問題などの上映会の開催

- ・映画の上映会を **20回以上**、実施

一意見交換の場「〇〇の部屋」開催

- ・「〇〇の部屋」と題した、考え方に触れる意見交換の場を **5回**、実施。テーマは「資本主義」や「フリースクール」など自由で多岐

一移住支援

- ・名古屋から伊豆に移住希望者の 空き家と一緒に探し、DIYを伝えることでの移住支援 を行いました。
- ・移住検討者向けイベント「沼住クエスト冒険セット」(沼津未来クリエイティブ事務局主催)の移住相談「賢者」として参画・協力

一地域の人の挑戦を応援

- ・希望者に、カフェスペースを割引で間借りしてもらいランチ提供を行う「チャレンジランチ」を開催
- ・こどもから大人まで「やりたい！」を応援する「投げ銭ライブ」を実施



様々な人が集うコミュニティスペース



映画の上映会



この日は「資本主義の部屋」



沼住クエストで工場長が「賢者」に

| もったいない仙人 | |
|----------|-------------------|
| 賢者ヒロキング | |
| DATA | |
| 性別 | 男性 |
| 特技 | 不要物再生力 |
| タイプ | 沼津工場一助 再生中は自慢屋 |
| 検索呪文 | 循環ワークス |



中学生が落語を披露した投げ銭ライブ

ワークショップの開催

暮らし・手仕事・食など多様なワークショップを **360回以上開催**

<暮らし>

- ・山本電力 独立型太陽光発電(オフグリッド)ワークショップ
- ・ガッツオート 自動車整備ワークショップ
- ・溶接ワークショップ 五徳を作ろう!
- ・雨水利用ワークショップ
- ・パーマカルチャーデザインコース
- ・薬草バームワークショップ
- ・種の交換会

<食>

- ・Tata 無添加キムチ作りワークショップ
- ・まつり農園 自然栽培で野菜づくり
- ・料理教室アームトング しろたまり仕込みワークショップ
- ・味噌作りワークショップ



銅のスプーン作り



シルクスクリーンワークショップ



草木染めワークショップ



筆文字POP制作ワークショップ



Tata 裁縫ワークショップ

<手仕事>

- ・小野銅工店 銅のスプーン作り&シエラカップ作りワークショップ
- ・Tata 裁縫ワークショップ
- ・ho'opono 玉ねぎ染めワークショップ
- ・ダーニングワークショップ
- ・KINEYAのカンナ削り&カンナ屑ブーケ作りワークショップ
- ・マクラメワークショップ
- ・kinaのカッティングボード制作ワークショップ
- ・綿の種取り、糸つむぎワークショップ
- ・シルクスクリーンワークショップ

<そのほか>

- ・SDGsカードゲーム
- ・筆文字POP制作ワークショップ
- ・ゴスペルを愉しむ会

中高生社会科見学&講演

- ・**20校以上**の社会科見学を受け入れ・講演開催
- ・ビーチクリーンの開催
- ・行政やまちづくり団体等の視察の受け入れも行っている

古物回収

- ・民家の不要物など、回収件数：**200件以上**
- ・回収アイテム数：**1万点以上**

行政との取り組み

- ・沼津市主催「沼津市リノベーションまちづくり」にて講師を担当
- ・沼津市主催の社会実験「OPEN NUMAZU」にて企画協力・出展
- ・沼津市第三中学校にて環境の授業講演



社会科見学



回収した古物の洗浄



回収した古物



沼津市第三中学校にて講演



「OPEN NUMAZU」の様子



①環境への貢献

2020年のオープン開始以来、店内の100%電力自給（オフグリッド）を継続しています
不要物の回収&販売によるゴミ削減。
廃油「天ぷら油カー」で回収。



④普及・汎用性

2023年7月以降、沼津市主催の社会実験「OPEN NUMAZU」にて企画協力・出店。
これまで工場では、1万点以上のアイテムの循環に貢献しました。古物の販売はイベント出展でも実施しています。



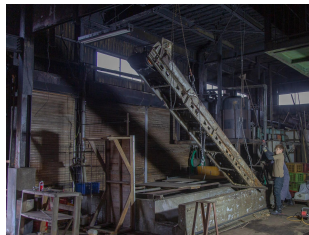
②社会・経済への貢献

循環ワークスの活動の広がり、社会科見学・講演活動の結果、沼津市以外の近隣地域の人からも回収の声がけを多数いただくようになりました。地域の人にも「ゴミとして捨てるのではなく誰か必要な人のために回収してもらいたい」という意識が広まってきました。



⑤革新・ユニーク性

工場内のコミュニティスペースで、様々な人の考えに触れるコミュニケーションの場作りや、「チャレンジランチ」「投げ銭ライブ」などで、地域のこどもから大人までたくさんの人の「やりたい」を応援する機会を作り出しています。



③地域資源の活用

循環ワークスの工場は、廃工場をIYでリノベーションしました。その他、もう一つの活動拠点として、近隣の空き家を現在リノベーション中で、町の「コミュニティナース」として2023年9月から活動予定です。近隣で無農薬栽培を行う農産物やオーガニック食品の販売も。



⑥継続性

古物回収やリノベーションのサポーターはのべ50人以上。地域での農家・アーティスト・飲食店など様々な人の関係を大切に、貨幣経済に頼らない「助け合い＝ギフト経済」を生み出しています。



環境問題の解決は誰かがしてくれません。

みんなが意識をしないと変わりません。

環境問題の解決よりも経済成長が最優先される現在の世の中は「知らない事」が問題だと思います。

知らないだけで、知れば自然と色々な選択肢や考え方に触れるきっかけになると考えています。

知らない内に自然環境に負荷を与える事

地球環境の問題を、知らない人をゼロにする

地球環境の問題を、誰もかが考えている世界を作る

豊かな生き方の選択肢を発信する

唯一無二の「ヒト、モノ、コトの循環工場」になる！

<5年後>

まずは静岡県内の中高生が全員理解している状態を作る！

<20年後>

環境に配慮した生き方にシフトしていく世界を作る！

自然に寄り添った社会の仕組みになる